

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	鹿児島県	事業実施主体	霧島市	地域再生計画名	「自然にやさしいまちづくり霧島」の水質保全計画
計画期間	平成28年度～令和元年度	評価責任者	霧島市 市民環境部長 本村 成明 上下水道部長 坂之上 浩幸		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価			
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	汚水処理人口普及率の向上	76.9%	H27	84.4%	H30	80.7%	86.9%	H31 (R1)	81.6%	×	4	1	最終目標値に対し実績が5.3%下回る結果となった。国からの交付金を活用して下水道整備区域の拡大及び合併処理浄化槽の普及促進を図ったが目標値の達成に至らなかった。
	指標 2	生活排水処理率の向上	73.0%	H27	81.4%	H30	77.4%	84.2%	H31 (R1)	79.1%	×	4	1	最終目標値に対し実績が5.1%下回る結果となった。国からの交付金を活用して下水道整備区域の拡大及び合併処理浄化槽の普及促進を図ったが目標値の達成に至らなかった。
	指標 3	BOD調査地点の水質基準達成率	78.7%	H27	82.0%	H30	82.0%	83.6%	H31 (R1)	83.6%	○			最終目標である61地点に対して51地点の水質基準（非灌漑期）を達成した。
	指標 4	自然環境が保全されていると感じている市民の割合。	77.6%	H27	79.4%	H30	71.40	80.0%	H31 (R1)	-	-			指標とする数値の収集方法が霧島市総合計画進行管理に係る市民意識調査結果を指標としているが平成31(令和元)年度以降は、市民意識調査が実施されておらず未把握。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1													
	指標 2													
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価									
		計画	中間年度 (H30)	最終実績										
特別措置を適用して行う事業	地方創生汚水処理施設整備推進交付金 公共下水道（処理場建設）	1箇所	0箇所	1箇所	国分隼人クリーンセンターの増設工事が完成した。令和2年3月31日より供用を開始し、処理能力の増大が図られた。									
	地方創生汚水処理施設整備推進交付金 公共下水道（管渠整備）	4,716m	665m	650m	隼人地区の区画整理事業の遅れにより、当初計画どおりに管渠工事を進めることができなかった。									
	地方創生汚水処理施設整備推進交付金（浄化槽）	1,425基	142基	281基	平成27年以前は、合併処理浄化槽の設置基数及び補助対象件数も多かったため、年間475基平均で計画を作成していたが、計画基数に対して大幅に減少する結果となった。これは、国分・隼人地区の人口密集地を除く中山間地域での高齢化や過疎化が進んだことや汲取り便槽及び単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換に伴う費用が高額であり補助制度があるとはいえ自己負担が発生することなどが要因と思われる。									
その他の事業														
計画外で独自に実施した事業	合併処理浄化槽設置整備事業【既設単独処理浄化槽・汲取り便槽転換】	既設の単独処理浄化槽からの合併処理浄化槽への設置転換を促進するため、汲取り便槽についても1基当たり90千円の上乗せ補助を行っている。			基準額に対し市単独の上乗せ補助を行うことにより、単独処理浄化槽、汲取り便槽から合併処理浄化槽への転換の推進を行った。(令和元年度末時点で17,890基)									
	10万本植林プロジェクト事業	自然環境の保全・再生地球温暖化対策や環境学習の一環として、伐採跡地などを地域本来の植生である照葉樹に転換するため、年間1万本を目安に、10年間で10万本の植林を実施する。			市民や企業、NPOなど各種団体と市が協働し、これまでに約62,000本の植樹を行い、自然環境の保全・再生、地球温暖化対策に努めた。									
	霧島市河川景観保全アダプト（里親）制度	河川の景観保全のための美化活動等を行う団体等に対して、活動支援金の交付を行っている。			河川の景観保全のために美化活動を行う団体に対して支援を行った。(令和元年度末時点で150団体が登録)									
	鹿児島湾の海岸清掃	鹿児島湾の環境保全活動の一環として錦港湾クリーンアップ作戦を開催し、湾岸地域が一体となって海水浴場等の清掃に取り組むことで美しい自然環境の保全を図る。			未来に引き継ぐ自然環境の保全と活用を図るため、錦江湾クリーンアップ作戦(夏、秋)を行い海水浴場等の清掃に取り組み美しい自然環境の保全を図ることができた。 前年度実績：(場所)国分下井海岸 (参加者)約700人 (ゴミ収集量)約4.4t (場所)隼人小浜海岸 (参加者)約520人 (ゴミ収集量)約2.4t (場所)福山漁港周辺 (参加者)約200人 (ゴミ収集量)約8.0t									
④評価方法	霧島市環境対策審議会において最終目標値の達成状況に関する評価・検討等を実施。													
⑤事後評価の公表方法	霧島市のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	汚水処理施設整備事業として下水道区域での事業実施と、その他区域における合併処理浄化槽への転換を実施し、汚水処理率と生活排水処理率の向上を図るため推進を行ったが結果的に指標1及び指標2について最終目標値を5%ほど下回る結果となった。													
⑦今後の方針等	錦江湾奥に位置している霧島市においては、今後も引き続き環境への負荷を軽減するために国等の補助事業を活用しながら下水道整備区域の拡大及び合併処理浄化槽の普及に努め一層の水質改善を進めていく。 なお、国分隼人公共下水道事業については、土地利用状況の変化や「霧島市下水道事業経営戦略」等を踏まえ、当初計画の見直しを行う。 合併処理浄化槽については、今年度から単独浄化槽からの転換に係る宅内配管工事に要する費用も補助対象となるなど負担の軽減につながる制度改正がなされていることを広報誌等を通じ市民に周知を図り合併処理浄化槽への切り替えを促進していく。													